



ROTARY INTERNATIONAL

1996年 6月20日

No. 13

Governor's Monthly Letter



クラブ会長・幹事殿控

『1年を終えて』



1996~'97年度のためのR.I.第2760地区地区協議会開催

“ 奉仕への道は一筋 ”

マイ・イヤー 残された時を大切に

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 石川 和昌

任期もあと僅かとなりましたがこのところ若い人々と接する機会に恵まれました。

それはローターアクト年次大会であり、ロータリー財団奨学生壮行会・学友会総会や1997～'98年度財団奨学生選考会、さらには米山奨学生オリエンテーションでありました。何れもロータリーが若い人々に寄せる期待に応えてくれる立派な人達との出会いで、教えられる所も多く、幾多の感銘を受けました。

中でも、5月25日の前夜祭、26日の本会議と2日間にわたって繰り広げられたローターアクト1995～'96年度年次大会は地区外2600地区（長野）2630地区（岐阜、三重）からも大勢のローターアクターが参加し、熱気溢れる若人の祭典でした。恒例の前夜祭はそれぞれのクラブが趣向を凝らした出し物でアピール、懇親の実を挙げ、大いに若さを発散させました。翌本会議は吉田高延地区代表の指導のもと、江南ローターアクトクラブのホストにより手作りの運営で実りある大会となりました。

陰に陽にご支援賜りました岩田会長はじめ江南ロータリークラブの会員各位に厚く御礼申し上げます。

ブラウンR.I.会長は常日頃、ローターアクターを将来のロータリアンとして期待され、

ローターアクトの拡大と活動に重点を置かれています。年次大会に出席して、漲るエネルギーに接し、未来への希望を見た思いでした。



続いて嬉しいニュースをお知らせします。地区としては今年度二つ目の新クラブが生まれ、6月18日名古屋錦ロータリークラブとして華々しく認証状伝達の式典を挙行されました。ご尽力頂きました吉村卯一郎特別代表、星川直志エイド、横井登会長はじめ名古屋名北ロータリークラブの皆様のご決断とご尽力に深く感謝を申し上げます。

併せて、梶川重久初代会長はじめ名古屋錦ロータリークラブの60名の会員、中でも10名に及ぶ女性会員各位に深甚な敬意とロータリアンの仲間として熱烈なご歓迎を申し上げる次第であります。

豊橋ゴールデンロータリークラブではRCC（地域共同隊）の結成準備を進めていましたが豊橋ボランティア ハート ネットワーク ディレクターズサークルの名称で国際ロータリーから承認を受け、6月7日認証状伝達式を挙行了しました。地区3番目のRCC誕生です。高沢博久会長はじめ豊橋ゴールデンロータリークラブのご努力に感謝し、高松徹会長以下豊橋ゴールデンロータリー地域共同隊の発展と地域への奉仕にご期待申し上げます。このことが来年度に向かって、地区内RCC結成の起爆剤となりますよう各クラブの奮起をお願い申し上げます。

ブラウンR.I.会長のカルガリー国際大会に家族揃って参加しようと言う呼びかけに応じ、参加者が会員174名、家族134名、合計308名の多さに達しました。カルガリーは当地区にとって万博の対立候補でもあり、大いに愛知の名をPRする良い機会でもあります。

2ヵ月間に互って協力をお願いして参りましたポリオ根絶活動資金募集の結果が出ました。総計4,746,484円となりました。皆様方の善意に頭の下がる思いです。早速、国際ポリオプラス中島治一郎委員と連絡をとり、ポリオ根絶活動プロジェクトを支援することとなりました。日の丸と2760地区名を書いた四輪駆動車がネパールの山間地帯をポリオワクチンを

積んで走り廻る日も近いでしょう。残額は次年度に繰越し、継続事業として有効に使わせて頂きます。

ロータリーの友6月号は緒方貞子国連難民高等弁務官が1996年度ロータリー国際理解賞を受賞されたというビッグニュースを伝えてくれました。同賞は1980年ロータリー創立75周年を記念して創設され、第1回は日本の岩村昇博士が受賞され、日本人としては緒方貞子氏が二人目の受賞者となりました。日本のロータリアンにとって誠に喜ばしく誇らしい思いで一杯です。

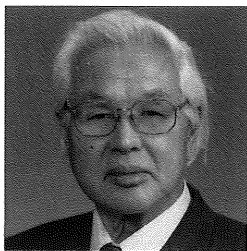
終わりに悲しい知らせですが長野県と同一地区であった時のガバナー藤原正男パストガバナーが5月29日お亡くなりになりました。享年75歳、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

1年は永いようで短いものですがその中に喜びも悲しみもありました。しかし、ロータリーは更なる発展を求め、奉仕の道を進んで参ります。未来に向かって遙かに延びる一本の道を我々は弛むことなく着実に歩んで行かねばなりません。

残された僅かな日時を大切に次年度へ、そして未来へ繋げて行くことがマイ・イヤーとして年度を託された我々の最後の務めだと思えます。

公式訪問だより

〈会長の目標〉



名古屋錦R C
1996年6月11日(火)
名古屋ガーデンパレス
会 長 梶川 重久
幹 事 中川 偉弘
会員数 60名

新設クラブの為、本年度及び次年度迄は内部結束を図るを最大目標とし、総ての努力を部内活動に集中、対外活動は暫くの間行わない。
地区内初めて女性会員10名を含むチャーターメンバーが、和やかで楽しい例会づくりをします。是非一度お訪ね下さい。

1996～'97年度のための
国際ロータリー第2760地区

地区協議会

小牧ロータリークラブ 玉置政利

◇日時 平成8年5月12日（日）

◇会場 小牧市民会館、名鉄小牧ホテル
小牧商工会議所会館

◇ホストクラブ 小牧ロータリークラブ

1996年～'97年度のための国際ロータリー第2760地区の地区協議会が、上記の要領で開催されました。

当日は、石川和昌ガバナー、松本宏ガバナーノミニーをはじめ、特別出席者57名、地区委員の方々も66名が出席、そして各クラブの出席義務者及び一般参加者841名の総勢964名と、大勢の方々出席のもとに開催する事ができました。

午前10時30分、石川ガバナーの点鐘、国歌斉唱、石田弘幸実行委員長、穂積俊文ホストクラブ会長、石川ガバナーのあいさつ等があった後、松本宏ガバナーノミニーから次年度国際ロータリーのルイス・ピセンテ・ジアイ会長のR.I.テーマ

BUILD THE FUTURE
WITH ACTION AND VISION
築け未来を



石川ガバナー挨拶

行動力と先見の眼で
を掲げられ、その実現のため

1. 先達の歩みに敬意をはらうことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

を示され、次年度ガバナー方針を説明されました。

午後からは、3会場、8分科会に分かれ、テーマを達成するために、活発な質疑応答があり非常に有意義な分科会となりました。

引き続き本会議場で、石川ガバナーの講評の後、松本ガバナーノミニーあいさつ、次期ホストクラブ、名古屋名東RCが、発表され16時30分頃無事閉会となりました。



第3分科会にて松本ガバナーノミニー

1995～'96年度 地区委員会委員長 活動を語る

資金委員会

簡素化により
健全会計



鈴木 孝則
(あま)

当2760地区は、歴代ガバナーはじめ、各委員の方々の卓抜な御指導と会員の努力が見事に結実し、世界でも有数の優秀な地区に発展向上を続けております。そして、本年度は情熱と実行力の石川ガバナーのもと、奉仕活動がさらに充実した年度となりました。

私はこのような地区、年度に地区資金委員長という大役を拝命し、おかげ様で大過なく終わることができましたこと、誠に欣快にたえません。皆様のご指導、ご努力に心から感謝申しあげます。

地区会計は、ガバナーご方針の「簡素化」が実現され、活動の盛り上りの中にも、大変健全に推移致しました。ありがとうございました。

石川ガバナーはじめ、皆様方の温かいご指導ご協力そして友情に心から感謝し、当地区が益々発展充実することを祈念して本年度の報告と御礼のご挨拶と致します。

拡大委員会

2つの新クラブ誕生



鈴木 孝平
(刈谷)

石川ガバナー年度に2つの新クラブが誕生いたしました。

1月24日、ガバナーお膝元の豊橋で豊橋南ロータリークラブが30周年の記念事業として、中村英彦特別代表のもと、小野会長始め会員諸氏が短期間に順調に豊橋東ロータリークラブを結成され、鈴木薫会長、小林佳雄幹事を中心にスタートを切りました。

30名の創立会員はそれぞれ立派な方々ばかりで、新クラブの将来は輝かしいものが洞察されます。

又、名古屋名北ロータリークラブがスポンサーで、名古屋錦ロータリークラブが吉村卯一郎特別代表のもとで結成され、53名の創立会員のうち10名は婦人会員、又男性会員も多士済々で、素晴らしい新クラブが、梶川重久会長、中川偉弘幹事を中心に4月16日結成されました。

地区拡大委員会としては何のお手伝いする間もなく、大変順調に2つのクラブが年度内に創立された事は誠に喜ばしい限りでございます。両クラブの今後のご発展を心からご祈念申し上げます。

クラブ奉仕委員会

委員長を終えて



稲垣 孝憲
(あま)

効率化と簡素化との石川G基本方針に沿い、今年度も地区委員会の開催を見合わせました。

地区協議会で、第二分科会のリーダーを担当、クラブ奉仕は建物における基礎工事の如きもの、クラブ奉仕委員長の熱意如何によりクラブの活性度が左右される。皆様のご努力により素晴らしい一年にして頂きたいとお願ひしました。

神戸PGには、親睦は大切であるが、それは奉仕活動を円滑にするための潤滑油、ロータリーはあくまでも奉仕が第一、親睦は第二だと、ロータリーの真髄を、そして活性化のための必要条件は会員増強であるとお話し願ひしました。

増強の具体策案については、鈴木拡大委員長と飯田増強委員長に、広報問題と友を如何に活用するべきか等について、熊沢広報副委員長と福井ロータリーの友委員長に、そしてメークアップその他ルール改正問題について、南館クラブ奉仕副委員長に説明を願ひました。

格別な活動をせず申訳なく存じています。
皆様のご指導ご協力にお礼申し上げます。

会員増強委員会

ご協力に感謝



飯田 幸雄
(尾張旭)

今年度はブラウンR.I.会長が「会員増強」を最重点目標とし、「カルガリーへの挑戦」と題して積極的に推進することを強調されました。

石川ガバナーはPETS、地区協議会、ガバナー訪問、地区大会、I.M.、月信などを通じて機会あるごとに「会員増強」の重要性について種々の観点から精力的に説いてこられました。

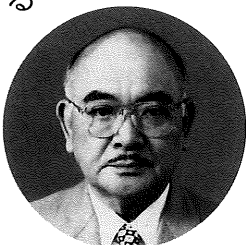
当委員会としては、地区協議会の分科会のアシスタントリーダーや地区大会のロータリーミーティングのアドバイザーなど側面的な支援にとどまり、いささか面映ゆく思っております。

しかし、今年度は例年に比し各クラブの会長幹事さんはもとより会員の皆様に「会員増強」への関心と理解が深く浸透したようで、3月末に純増218名に達し、5月17日の締切日までにさらに増加が期待されるようです。

石川ガバナーおよび事務所スタッフのご努力に敬意と各クラブの皆様のご協力に謝意を表し、報告に代えさせていただきます。

職業奉仕委員会

「ロータリーにおける職業奉仕」を再び考える



岡本 纓二
(名古屋名東)

「ロータリーでいう職業奉仕」はロータリーの金看板というのが、単なる看板に終わってしまい勝ちであるとか、難解であるとか、「何が難しいか、これ程易しいものはない。職業奉仕が解らなければロータリアンの資格はない」などの諸説が多くの資料に見られる。また、研修会においてもよく取り上げられるテーマである。

しかし本当に諸説輩出する問題なのであろうか。地区あるいは各クラブの職業奉仕委員会の活動のあり方を少し昔にもどしてみたらと思う時がある。「職業倫理訓」「道徳律」「1987年R.I.の新方針」と指針が動いているが、根本は変らない筈である。その時代にマッチした考え方があつた筈である。ロータリアンには、それを考える力がある筈である。もう一度考えてみよう「職業奉仕について」。

本年度地区職業奉仕委員会として諸般の事情により研修会その他活動ができなかつた事を深くお詫びする。

多くのクラブで職業奉仕に対する関心が深く、卓話をさせていただき光栄でありお礼を申し上げます。

社会奉仕委員会

ロータリーらしい 社会奉仕の考え方



神谷 邦雄
(豊橋北)

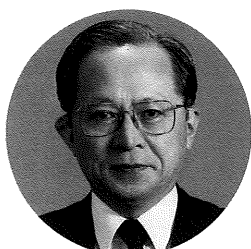
ロータリーが出来て90年の時が経ち、社会環境や価値観が急激に変化している中、ロータリーの社会奉仕のあり方についてこれでいいのかと反省させられる点が多々ある様に思われます。他の社会奉仕団体と同じようなやり方や問題のとらえ方等々、これでよいのでしょうか。誰でもやれる事をやっていれば、あまりロータリーとしての存在価値がないと思います。地域社会の向上や世界平和に本当に役立つものであればよいのです。知らない間に社会全体をもより動かすような大きな輪を作るための起爆剤のような社会奉仕活動であってほしい。参考までに地区社会奉仕委員会から提言をします。

- ①ロータリアンの英知を結集して下さい。
- ②対症療法でなく原因療法的な取り組みを。
- ③問題を先取りして社会をリードして下さい。
- ④物質的な奉仕より精神的な奉仕を。即ち心を副えて魂の入った社会奉仕活動を。

以上96.2.25付地区社会奉仕サマリーより。

環境保全(小)委員会

身近な環境保全



石川 顕次
(豊橋北)

前年度は、片山委員長さんが大変ご活躍をなさいましたが、本年度は、基本方針を「隗より始めよう環境保全」として、動より静の活動をして参りました。

11月18日に、名古屋において、第1回委員長会議を開き、基本講演として名古屋大学名誉教授の西条八束先生に「青くない海の話」と云うテーマで、お話を頂き、次いで各クラブより情報の提供及び報告等を聞きました。西条先生は、詩人の西条八十先生の息子さんと、理学者で、特に水に関する大家でいらっしゃいます。

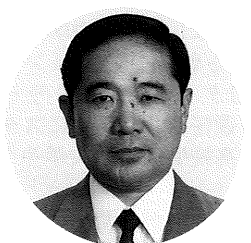
本年度、6月5日(水)に、もう一度地区委員長全体会を開催の予定です。その時には、モンゴルから日本に音楽の勉強のために留学しているオユンナさんを招いて、「草原の国モンゴルよりのメッセージ」と題して環境の日記念スピーチをお願いする予定です。

地区環境保全(小)委員会は、何をなすべきか？自問自答し、反省を致しております。

一年間、ご協力有難うございました。

R.C.C.(小)委員会

地区内3番目の R.C.C.誕生



伊藤 洵二
(名古屋中)

本年度、石川ガバナーは、地区社会奉仕委員会の下に新たにR.C.C.(小)委員会を設置され、その委員長を命じられました。何分にも知識、経験共乏しく、与えられた責任の重大さに押しつぶされそうな一年ではありましたが、ガバナーはじめ、ガバナー事務所の皆様方の御理解と御協力のお陰で、大過なく終らせて頂けました事を深く感謝致しております。

R.C.C.につきましては、地区内でも独立した委員会を持つクラブは少く、又比較的歴史が新しい為資料も乏しく、もう少し理解を深めたいとの御意見もありましたので、1996年2月に「R.C.C.小研究会」を持ちました所、大変多くのクラブの御参加を頂きました。又年度末近くには、豊橋ゴールデンロータリークラブの御尽力で待望の地区内第3番目のR.C.C.が設立されました。

石川ガバナーはじめ皆様方の御指導、御援助と、温かい友情に心から感謝を申し上げ、御礼のご挨拶と致します。

国際奉仕委員会

委員長を終えて



吉村 卯一郎
(名古屋名北)

本年度は昨年度に引続き地区国際奉仕委員長に任命されましたので、比較的順調に、又要領よく行事をこなすことができました。然し年度3ヶ月目頃に私の所属する名古屋名北ロータリークラブが新しい子クラブを結成することになり、私は石川ガバナーから特別代表を委嘱されましたので、俄然あわただしい日々が続くことになりました。

委員長としては昨年9月4日に第1回地区国際奉仕委員長会議を開催して、青少年交換、世界社会奉仕、国際友好の三委員会の協力の下に年間計画の実施に入り、本年3月28日には第2回の会議を催して年間計画の実施や活動状況の報告等を行いました。その間恒例のW.C.S.活動の海外視察旅行に参加して、本年2月10日から14日までタイを訪問いたしました。タイもフィリピンと同様に貧富の差が激しいところではありますが、ドネーションの継続には際限がありませんので、奨学資金の贈与に重点を置いた方が良くはないかと感じました。

尚新クラブの結成も順調にすすみまして、去る4月16日には創立総会を開催して“名古屋錦ロータリークラブ”と名付け、会員53名(内女性10名)をもって発足いたしました。

青少年交換(小)委員会

21世紀の青少年交換を展望して



林 光雄
(名古屋西)

石川ガバナーはじめ関係各ロータリアンの深いご理解とご協力により、実り多き成果を修めつつあります。

以下内容を下記に列記いたします。

交流会名	行 先	場 所	日 数	参 加 者	月 日
第1回	御殿場	YMCA東山荘	1泊2日	派遣、受入、帰国学生	8/27,28
第2回	東海市	勤労センター	1泊2日	〃 〃 〃	11/18,19
第3回	京 都	金閣寺他	日帰り	受入学生のみ	12/17
三者懇談会		キャッスルプラザ		受入高校先生他	2/3
スキー	白 馬	2600地区共催	2泊3日	派遣、受入	3/19-21
全国会議	京 都	京都ホテル	1泊2日	委員全員	4/25,26

1995～96年度ロータリー青少年交換プログラム全国役員会議『京都会議』において、「21世紀の青少年交換の展望」と題してのパネルディスカッションをはじめ、分科会で「カウンセラーの役割」「インターネットの利用」等様々な角度から熱心に討議された。当日2000年には名古屋で開催されることが決定した。参加者は、国際ロータリー理事今井鎮雄氏他各地区ガバナー、ガバナーノミニ、委員合わせて150名。

世界社会奉仕(小)委員会

W.C.S.活動の意義



牧 真
(岡崎南)

この2年間、2760地区世界社会奉仕委員長を務めさせて頂きましたが、ロータリー歴18年の私ではありますが、始めて目で見えるすばらしい奉仕活動が出来たように思い、本当に感謝致しております。

当地区のW.C.S.活動は、フィリピンの3800、3810地区とタイ3360地区の3地区であります。そのほとんどが飢餓貧困の対策プロジェクトでその内容は貧困児童への給食、職業指導、三つ口の手術、白内障手術等々でありましたが、三年前からスタート致しました中学生への奨学金制度が、高校生そして大学生まで拡大され、フィリピンでは「愛知ロータリー奨学金」と、タイ国では「日タイ愛知ロータリー奨学金」として法人登録され、理事選考委員も選任され、正式にスタート致しました。今年度は両国で中学生30名、高校生18名、大学生7名が選ばれ、奨学金が支給されています。

奨学生達と話しをする機会がありましたが、全員が「愛知ロータリアンの皆様のおかげで高等教育が受けられるんだ」と嬉しそうに涙してくれる、そんな子供達が将来「世界は一つ、アジアは一つなり」の理想の旗をかかげ平和な世界を作りあげてくれると私は信じています。

国際友好(小)委員会

提携状況 アンケート実施



中野 博三
(豊橋南)

昨年度に引き続き、アンケートによる提携状況を実施しました。マンネリ化したアンケートの所為か、回答はあまり芳しくありませんでしたが、74クラブのうち43クラブが海外の55クラブと交流、交流を検討中のクラブが6クラブありました。(前年度は40クラブが海外54クラブと)

「趣味・職業別親睦活動(RRVF)に就いては、調査の不行き届きな点もありましたが、4名の方々が参加してみえます。

「ロータリー友情交換」は昨年度、正式にR.I.に登録されましたが、まだPR不足か内容が十分に伝わっていないようです。

当小委員会に対しては、「もっとPRが必要だ」とか「未提携クラブの為に、姉妹提携必須マニュアルを作成、配布したら」とか、「他のクラブの具体的な活動に就いて、その内容や資料を知らせて欲しい」などの貴重なご意見を頂戴しました。今後の課題として、検討すべきだと思います。

ご協力を深く感謝します。

青少年活動委員会

青少年の社会奉仕と 国際親善

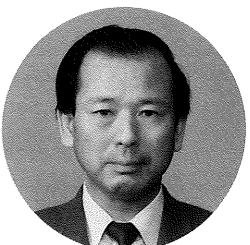


宮本 昌幸
(岡崎南)

青少年活動の奉仕分野が広範囲を極めるだけに、その重複を避けるため、職業・社会・国際の各委員会との連携を密に協同奉仕を行うよう奨励致してまいりました。特に社会奉仕の関連では、高齢者・身体障害者の施設への訪問による慰安や清掃奉仕および外出時の介護、スポーツやレクリエーションの設営等ボランティア活動のほか、震災や恵まれない人達を援助する募金や献血運動にも積極的に参加し、その効果を上げるべく努力を致し、多くの成果を上げてまいりました。なかでもRCが提唱するI.A.C.とR.A.C.の皆さんが聾学校・盲学校の点字や手話講習に参加され、ご自分が修得後の手助けをする奉仕を行い大変感謝され喜ばれており、今後も援助活動が継続されることになりました。このほか、青少年が世界情勢の理解をはぐくみ、他国の国民に対し、相互信頼関係を推進することの大切さを承知し、お互いにホームステイなどの体験をもとに親善交流を盛んなものとし、生活環境や文化の相違点を含め、より一層理解を深め合う活動の展開を図ることに致しております。

インターアクト(小)委員会

I.A.C.の強化を めざして



坂本 康信
(名古屋)

今年度地区I.A.委員会では、(1)I.A.C.の推進一提唱RC及び学校を通じて支援・助言、(2)I.A.C.の啓蒙及び新規結成に努力—I.A.C.の結成マニュアルの作成、第2760地区の活動ビデオの作成、新規クラブの提唱をRCにアピール、(3)第2760地区I.A.C.の特別行事に積極的に参加・協力・支援等々を方針として活動をすすめてまいりました。以下は特別プログラムであります。

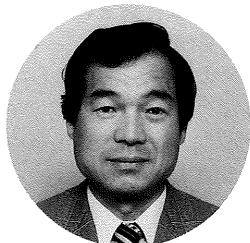
(1)第6回I.A.協議会を夏季に岡崎勤労福祉会館において、岡崎RC、岡崎学園高校I.A.C.のホストのもとで開催し、700名と最高の参加者を得、大成果を収めました。

(2)国際交流では、第8回ハワイ研修を実施し、32名の高校生、2名の先生、3名のロータリアン参加、また今までお世話になったハワイヒロ市より高校生4名、団長1名を招待し、いずれも良き交流を図ることができました。

(3)地区I.A.C.顧問・委員懇談会を開催し、顧問・地区役員・委員・ロータリアン計47名が参加し、情報交換及び交流を図りました。

ローターアクト(小)委員会

アクトー同志の
仲間意識高まる



野崎 洋二
(名古屋瑞穂)

本年度当地区ローターアクト(R.A.)では、「和を以ってアクトとなす!」と云う吉田高延R.A.地区代表の掲げたテーマのもと、地区内10クラブのアクトー諸君は一致団結し活発な奉仕活動に励んで参りました。その結果アクトー同志の仲間意識は一層高まると共に親睦の輪は確実に広がり多くの友人に出逢う事が出来ました。この熱意と行動はR.A.の目的の一つである〈指導力の推進〉や〈専門知識〉を磨き乍ら、地域社会に役立つ人間として大きく成長される事と確信致しております。

一方提唱RCも含め、ロータリアンのR.A.に対する認識不足を解消する為、昨年より引き続き多くのRCを訪問し卓話等でR.A.のPRにも務めて参りました。

ロータリアンの皆様方の一層のご理解と温かいご支援を今後共よろしくお願い申し上げます。

ライラ(小)委員会

青少年と共にある
ライラセミナー



岡部 快圓
(名古屋大須)

本年度地区ライラ活動に多大のご協力を戴き厚く御礼申し上げます。当地区のライラセミナーも4回を数え、年々参加者も増え盛大になってまいりました。しかし、地区全体に於けるライラの認識はまだ十分であるとは言い難い状況です。

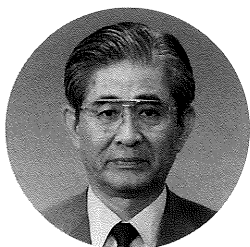
本年度ライラセミナーの参加状況は73クラブ中、不参加7クラブ、ロータリアンのみ参加23クラブです。ライラセミナーは地区の行事であり、各クラブは参加する義務があり、又参加者からは、大変大きな評価を受けている奉仕活動です。

青少年は未来の宝であり、財産です。青少年の心に残る奉仕活動に地区内全クラブが参加して戴くようお願い致します。

最後にご指導を戴いた石川ガバナーはじめ関係委員会各位に心より御礼申し上げます。

ロータリー財団委員会

温かい励ましとご協
力に感謝



矢島 茂
(名古屋守山)

昨年、地区ロータリー財団委員長の指名を受け、大役に戸惑いながらも、石川ガバナーはじめロータリアン各位のご支援により、早くも一年が過ぎようとしております。

今年度は、年次寄付に加え恒久基金への寄付の増進をPRすると共に、地区財団活動資金の使途は、世界理解と平和のための国際親善奨学金を選択して推進してまいりました。

また、地区財団セミナーにて、低所得国からの日本語を学ぶ国際親善奨学金(ジャパンプログラム)の寄贈について、各クラブからの賛同を得ることができました。

このように、財団への寄付をはじめ、財団プログラムへのご理解により、地区財団活動をより一層充実できましたことは、地区ロータリアン、各クラブ財団委員長、地区財団委員各位の温かい励ましと絶大なご協力によるものと、心から感謝申し上げます。

財団奨学金(小)委員会

御協力に感謝



長谷川 二郎
(豊山一城北)

ロータリー財団奨学金委員会に対しての御協力に対し感謝致しております。

当地区での奨学金は1年または2年間勉学、研修のため外国へ留学する方に与えられておりますことは御承知の通りであります。いうまでもなくただ単なる外国留学ではなく、国際親善使節としての責務も負って頂く大きな目的があります。

したがって、学識、教養、品位ともに整った人材を多くの方から選ばねばなりません。年々応募者が多くなっており喜んでおりますが、それだけに人選もまたいろいろと厳しいものがあります。1998年～1999年度派遣奨学生については1996年11月中旬までには募集要項が公表されますが、従来と比べ大きな変更はないと思いますので今から優秀な人材の推薦を準備して頂ければ幸いです。資格、留学先、書類の整備などに対して応募者を御指導頂きたくお願い申し上げます。

財団学友会(小)委員会

学友賞にチャレンジ!!

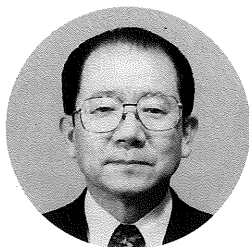


梅村 東
(豊橋ゴールデン)

学友会も本年度('96～'97)奨学生20名を加え224名のメンバー構成となりました。新奨学生の皆さんはこれから始まる留学生活に向って期待に胸を膨らませておられることと思います。一方元奨学生(学友)の皆さんは帰国後様々な分野で活躍をされておりますが、そんな学友の中から本年度より新たに創設された学友賞(優秀賞、業績賞)に当地区からも2名の元奨学生～優秀賞に'71～'72年度奨学生でプロジェクトコーディネーターのランデル(春田)洋子さん、業績賞に'81～'82年度奨学生でオーケストラ指揮者の松尾葉子さんをガバナー推薦させて頂きました。受賞は世界中で各賞1人ずつということで審査も大変困難を窮めた様ですが残念ながら受賞には至りませんでした。しかしながら当地区から優秀なお2人をエントリー出来たことを大変うれしく思っております。オリンピックではありませんが、第1回目の賞でしたのでエントリーをし当地区の学友のアピールが出来たことは大変意義があったと思います。エントリーのために多大なご協力を頂いた春田さん、松尾さんに心より感謝申し上げます。今後とも学友の皆さんがそれぞれの分野で一層の活躍をされ、いずれかの日に当地区から学友賞受賞者が誕生することを願っております。

財団ポリオプラス(小)委員会

ポリオ・プラス根絶
募金の御礼



黒谷 尚弘
(豊橋)

本年度、ポリオ・プラス根絶募金の要請に対し、ロータリアンの皆様には、深いご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。

私達世代は、ポリオ・ウイルスを今世紀末には根絶し、その自信を持って今人類が抱えている多くの諸問題を、一人一人の英知と努力によって、ひとつひとつ解決していかなくてはなりません。私達世代が、子供や孫たちに残せる一番大切な遺産は、21世紀も人類が安全に生存できるシナリオを、今日より書き始めることだと確信しています。

*ポリオ・プラスの近況につきましては「ロータリーの友」の下記の資料を是非ご一読下さい。

「ポリオ・プラスという約束を守る」

ハープ・ブラウン R. I. 会長 (3月号)

「ポリオ・プラスニュース」 (4月号)

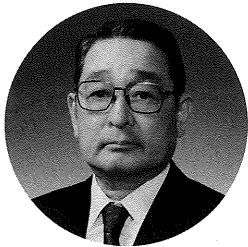
「インドで9000万人にワクチン投与」

国際ポリオ・プラス委員会委員

中島治一郎 (5月号)

米山記念奨学会

多大なご寄付に感謝

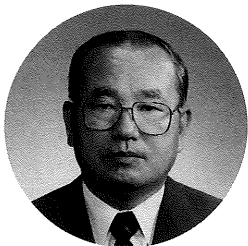


小田 公平
(豊橋)

'95～'96年石川GN年度地区米山記念奨学会委員長に指名されて以来直前理事奥谷PG、新理事田中PG、直前委員長米田カウンセラーの適切なご指導と心暖まるご支援のお陰で無事に任期を終える事が出来ました。5月開催の地区協議会第8分科会を出発に、9月に地区内米山委員長会議を開催、両会議を通してロータリー米山記念奨学会の歴史、主旨、活動、寄付金明細等について深くご理解をいただきました。更に同月末にカウンセラーと奨学生の合同の会議を開き、カウンセラーの任務をお願い、奨学生への激励と地区大会参加への準備をいたしました。続いて12月、奨学生、カウンセラー合同で見学会と年末忘年会を開催、本年2月“期間終了奨学生歓送会と指導教官感謝の夕べ”を開催し4名の学位取得者を発表、記念の金時計を又全員に終了証書を手渡しました。今年度特筆すべきことは遂に年度奨学生数が1000名となったことであります。当地区は本年度44名の奨学生を4月以降お世話をする事になりました。末筆になりましたが地区のロータリアンの皆様の多大なご寄付に心から感謝申し上げ報告といたします。

ロータリーの友

「友」読書率向上



福井 恒雄
(豊橋)

まず大過なく一年にわたる「ロータリーの友」地区委員長の職責を果たしえたことを喜んでおります。石川ガバナーの御期待にお応えできたかどうか分かりませんが、私としては精一杯やらせて戴きました。色々お世話になった関係者のみなさんに改めて感謝致します。

隔月上京して全国34の地区委員が参加して行われる「友」委員会では色々な人との出会いがあり、いろいろ勉強になりました。「友」の委員会は「ロータリーの友」を編集するだけでなく、「友」で発行する全ての刊行物の販売の義務の有ることを知りました。特に、英語版「ロータリーの友」の拡販については、石川ガバナーの御協力を戴きまして、目標を達成することが出来ました、深く感謝申し上げます。

“読まれざるベストセラー”と言われております、「ロータリーの友」も最近では読書率も高まり、35%以上の会員が良く読んでいるとの調査結果が出て居ります、誠に喜ばしい事です。

第2760地区ニュース・その他

新米山奨学生とカウンセラーとの オリエンテーション

地区米山記念奨学会委員長 小田 公平
平成8年5月23日(木)午後3時30分より
名古屋メルパルクに於いて新奨学生28名、CY奨学生4名、米山カウンセラー32名の参加を得て、地区米山担当田中 徹理事、地区米山奨学会米田春雄カウンセラーのもとに、世話クラブ、米山カウンセラーの役割、新奨学生の心得について、詳細にオリエンテーションが行わ

れました。

オリエンテーション終了後は奨学生、カウンセラー、地区委員一緒に懇親会が開催され、和やかな一刻を持つ事が出来ました。



第2760地区ニュース・その他

第12回ロータリー財団学友会 総会 並びに 奨学生壮行会

R 財団学友会(小)委員長 梅 村 東

日時：1996年 5 月19日(日) 10:00～13:30

会場：毎日ビル国際サロン

第12回学友会総会並びに奨学生壮行会にご来賓として石川ガバナー、星野R財団カウンセラー他8名の地区役員のご出席を頂き開催をされました。総会は学友会古橋代表幹事が議長となり三件の議案(○一号議案 1995年度事業報告並びに決算報告、○二号議案 1996年度幹事選出、○三号議案 1996年度事業計画並びに予算案)について審議が行われいずれも原案通り可決されました。つづいて懇談会に入り石川ガバナー、星野R財団カウンセラー、矢島R財団委員長よりご挨拶を頂きました。石川ガバナーからは「学友会総会が無事終了されたことをお喜び申し上げます。今年度奨学生となられました皆様とは選衡の過程からかわりを持たせて頂き大変印象深い訳ですが今後は学友の活動にもご協力を頂くとともに大変希望に燃えて留学をされる訳ですから身体に気をつけて充分ロータリーとも連絡を取って大いに勉強をして頂き、且つロータリーの国際親善大使としての役割も果たすべくお願い致します。」とのお言葉を頂

きました。その後懇談が行われ奨学生各々の近況と留学先について、又学友からは先輩として貴重な体験並びに激励のことばを頂きました。

総会、懇談会終了後会場を移し奨学生を囲んで壮行会(立食パーティー)が行われ大変なごやかな雰囲気の中で楽しく有意義な一時を過ごし午後1時すぎ会を閉じました。

○1996年度事業計画 1.第12回財団学友会総会 1996年5月19日(日) 2.奨学生のためのガイダンス 1996年8月4日 3.奨学生地区大会参加 1996年10月13日 4.奨学生のためのオリエンテーション 1997年2月2日 5.学友会名簿の作成

○1996年度学友会幹事 代表幹事 古橋武之('76GSE)、幹事 下村昇('87奨学生)、笹本浩子('89)、伊藤尚代('92)、近藤雪絵('93)

○出席者 地区役員 石川和昌ガバナー、星野充R財団カウンセラー、矢島茂R財団委員長、鈴木茂雄R財団副委員長、高津三郎R財団委員、酒井孝R財団奨学金副委員長、梅村東R財団学友会委員長、白井通義R財団学友会副委員長、栗津良一R財団学友会委員、三浦多久二R財団学友会委員、財団学友11名、'96年度奨学生14名。



第2760地区ニュース・その他

半田RC創立45周年記念例会

会長 榊原 信 弐

半田ロータリークラブは昭和26年5月16日、名古屋ロータリークラブをスポンサークラブとして県下4番目のロータリークラブとして呱呱の声をあげて以来45年の歳月が流れ、去る5月16日に半田ロータリークラブは例会場、レストラン白山に於て、創立45周年記念例会を開催しました。ご多忙の中、記念例会には、来賓の方々および、R.I.第2760地区神野紀郎地区幹事、松井英治郎副幹事、又、市田弘治尾張第1分区代理はじめ、分区内の各会長5名、そして姉妹提携クラブ松本RCのR.I.第2600地区篠田義一パストガバナーも遠方よりご臨席賜わり、錦上添花を添えて頂きました。

記念例会ではチャーター会員として唯一人45年間在籍している山川幸男君に感謝状を進呈し懇親会ではアトラクションの演奏をバックに、参加者一同、ご夫人方も交じえて賑やかに交流を深め、楽しく創立45周年を祝う事が出来ま

した。

今年度は5年の刻みという事もあり、次の大きな一里塚、50周年を控えている為なるべく簡素を念頭に45周年行事に取組みました。従って特別記念行事をやるかわりに会員家族の写真を掲載した記念名簿だけを作製する事に留めました。

しかし幸いにも先輩各位のご指導のお陰で、ささやかながらも華やかに記念例会を催す事が出来ました事を感謝いたします。今後も伝統を大切にするとともに新しい時代にも目を向けてロータリーのあるべき姿を求めて努力を重ねて参りたいと存じます。



特別寄付報告書（1996年4月分）

2760地区

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末 永 直 行

ク ラ ブ 名	クラブ投入金額	個人投入金額	法人投入金額	合 計	件 数
あ ま	0	350,000	0	350,000	3件
半 田 南	0	900,000	0	900,000	29件
刈 谷	190,000	0	0	190,000	1件
名 古 屋	0	0	30,000	30,000	1件
西尾KIRARA	0	120,000	100,000	220,000	6件
岡 崎	0	230,000	0	230,000	19件
岡 崎 東	11,198	0	0	11,198	1件
岡 崎 南	0	70,000	0	70,000	3件
豊 橋 北	0	10,000	0	10,000	1件
豊 田	0	270,000	0	270,000	1件
豊 田 東	0	720,000	0	720,000	24件
地 区 合 計	201,198	2,670,000	130,000	3,001,198	

第2760地区ニュース・その他

1995～'96年度 R.I. D-2760

第5回地区諮問委員会開催

日時：1996年5月11日(土)11:30～14:00

場所：名鉄ニューグランドホテル 6F

【出席者】

森PDG、奥谷PDG、福田PDG、
田中PDG、高沢PDG、盛田PDG、
加納PDG、神戸PDG、宮地PDG、
蜂谷PDG、石川DGN、松本DGN、
犬飼次期DGN、

オブザーバー 神野地区幹事
内田次期地区幹事
杉浦次期地区副幹事
山田次期地区副幹事

●石川ガバナー挨拶

●協議事項

1. 1996～'97年度のための地区協議会について
 - 1) 日程について
 - 2) リーダーとアドバイザーとの打合せについて
 - 3) 本会議、分科会について

2. 特別代表委嘱について

3. 長野オリンピック支援について

4. その他

●報告事項

1. 松本ガバナーノミニー国際会議出席報告について
2. 豊橋東ロータリークラブ設立について
3. 名古屋錦ロータリークラブ設立について
4. R.I.会長賞受賞について
5. ロータリー財団の地区財団奉仕賞受賞について
6. 第4回ロータリー青少年指導者養成セミナー(RYLA)について

7. 米山奨学生選考結果について

8. 会長エレクト研修セミナーについて

9. W.C.S.報告と特別活動事業費の戻し入れについて

10. 特別活動事業費の活用について

11. R.C.C.設立について

12. 1996-'97年度地区協議会のホストクラブについて

13. 地区大会・地区協議会の主催地ローテーションについて

14. 地区主要行事日程について

15. その他

お詫び

ガバナー月信№12号に誤りがありました。

P 3 豊田東 → 豊田西

P 11 山田 進 → 山田 達

P 20 田原RC創立15周年



田原RC創立35周年

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

5月2日 今井 信之(名古屋中RC)

5月10日 寺部 一毅(安城RC)

5月14日 浜田 武(名古屋瑞穂RC)

5月16日 浅野 長久(津島RC)

5月17日 松岡 敏司(江南RC)

5月18日 大橋 二郎(津島RC)

5月20日 森田 孝(名古屋和合RC)

5月24日 鳥山 富生(名古屋中RC)

6月8日 鷹見 登(豊田西RC)

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'95年 7月1日	当 月	増 減					'95年 7月1日	当 月	増 減
尾張第一分区	知 多	99.46	4	49	47	－ 2	西尾張分区	あ ま	99.76	4	103	105	2
	半 田	100.00	4	73	73			尾 西	98.41	4	60	64	4
	半 田 南	97.30	5	68	69	1		一 宮	99.72	4	91	94	3
	東 知 多	92.16	3	58	62	4		一 宮 北	99.11	4	83	86	3
	常 滑	99.29	4	69	71	2		稲 沢	95.00	4	64	65	1
	東 海	98.02	4	64	64			西 春日井	99.15	4	65	64	－ 1
	計	97.71	－	381	386	5		尾 張 中央	100.00	4	50	49	－ 1
名古屋第一分区	名 古 屋	96.98	4	225	235	1 0	東三河分区	津 島	100.00	4	86	91	5
	名古屋南	98.44	4	121	124	3		一 宮 中央	91.53	4	68	72	4
	名古屋港	100.00	4	128	132	4		計	98.08	－	670	690	2 0
	名古屋瑞穂	100.00	4	100	105	5		渥 美	93.75	4	63	65	2
	名古屋中	99.83	4	157	163	6		蒲 郡	94.75	4	79	80	1
	名古屋西	97.88	4	148	150	2		奥 三 河	92.74	4	39	41	2
	名古屋大須	99.74	4	95	96	1		新 城	96.78	4	63	70	7
	名古屋名南	97.92	4	81	84	3		田 原	97.01	4	72	73	1
	名古屋名駅	95.79	4	97	102	5		豊 橋	98.91	4	130	133	3
	名古屋東南	97.72	4	81	87	6		豊橋ゴールドン	99.71	4	83	85	2
	名古屋栄	91.83	4	76	85	9		豊 橋 北	100.00	5	114	119	5
	名古屋西南	100.00	4	46	51	5		豊 橋 南	99.55	4	87	64	－23
名古屋第二分区	計	98.01	－	1,355	1,414	5 9	豊 川	98.90	4	76	81	5	
	名古屋千種	98.90	4	67	68	1	豊 川 宝 飯	96.31	4	68	68		
	名古屋東	98.26	4	115	117	2	田原パシフィック	95.72	4	66	75	9	
	名古屋北	99.77	4	114	115	1	豊 橋 東	100.00	4		32	3 2	
	名古屋名北	99.63	4	75	70	－ 5	計	97.24	－	940	986	4 6	
	名古屋名東	99.06	4	67	80	1 3	岡 崎	100.00	4	111	117	6	
	名古屋守山	94.02	4	89	92	3	岡 崎 東	98.93	4	81	84	3	
	名古屋昭和	100.00	4	67	73	6	岡 崎 城南	100.00	4	78	79	1	
	名古屋和合	100.00	4	112	115	3	岡 崎 南	98.77	4	111	114	3	
	名古屋錦	97.00	3		53	5 3	豊 田	98.46	4	97	103	6	
	計	98.52	－	706	783	7 7	豊 田 東	100.00	4	92	93	1	
	西尾張分区	犬 山	98.76	4	78	81	3	西三河第二分区	豊 田 西	100.00	4	102	107
岩 倉		94.09	4	44	45	1	豊 田 三 好		100.00	4	29	32	3
春日井		100.00	4	84	83	－ 1	計		99.52	－	701	729	2 8
小 牧		97.10	4	70	69	－ 1	安 城		96.43	4	95	95	
江 南		100.00	4	72	74	2	碧 南		99.36	4	81	86	5
名古屋空港		98.48	4	70	67	－ 3	一 色		100.00	4	53	56	3
尾 張 旭		99.64	4	68	70	2	刈 谷		100.00	4	88	92	4
瀬 戸		100.00	4	80	81	1	知 立		98.52	4	55	55	
瀬 戸 北		99.38	5	68	71	3	西 尾		93.00	4	79	79	
豊山一城北		100.00	5	59	61	2	西尾KIRARA		95.39	4	62	65	3
計		98.75	－	693	702	9	高 浜		100.00	4	53	54	1
							計		97.88	－	566	582	1 6
地区内クラブ数				75 R C	'95.7.1 会員数		6,012名	増 加 会 員 数		297名			
					当月末会員数		6,272名	減 少 会 員 数		－37名			
					当月平均出席率		98.21%	差引純増会員数		260名			